

資料 2 の 4 3 ~ 4 4 頁差し替え用資料 (一部)

平成 10 ~ 15 年度環境実態調査結果の概要 (水質・底質・土壌・大気)

- ・ 検出試料/調査試料 : 調査した試料のうち、検出下限値を超えて測定された試料 (検出頻度)
- ・ ND : 測定値が検出下限値未満
- ・ ND () : () は検出下限値の範囲
- ・ : 調査未実施

		水質 $\mu\text{g/L}$	底質 $\mu\text{g/kg}$	土壌 $\mu\text{g/kg}$	大気 ng/m^3	
アジピロン酸ジ-2-エチルキリル	検出試料数/調査試料数	68/1,011	20/335	0/101	158/198	
	検出濃度範囲	ND(<0.01-0.1)-1.8	ND(<10-70)-66	ND(<10-24)	ND(<0.58-0.74)-21	
アトラジン	検出試料数/調査試料数	9/772	0/114	2/101		
	検出濃度範囲	ND(<0.02-0.05)-0.09	ND(<0.7-10)	ND(<0.7-1.2)-20		
アミトロール	検出試料数/調査試料数	12/747	0/94	0/94		
	検出濃度範囲	ND(<0.05)-1.06	ND(<10)	ND(<5)		
アラクロール	検出試料数/調査試料数	1/747	0/94	0/94		
	検出濃度範囲	ND(<0.05)-0.38	ND(<10)	ND(<1)		
アルドリノ	検出試料数/調査試料数	0/249	0/94	0/94		
	検出濃度範囲	ND(<0.05)	ND(<10)	ND(<5)		
イソフェンバレート	検出試料数/調査試料数	0/747	0/94	0/94		
	検出濃度範囲	ND(<0.05)	ND(<10)	ND(<2)		
イソプロラチオ	検出試料数/調査試料数	0/249	0/94	0/94		
	検出濃度範囲	ND(<0.05)	ND(<20)	ND(<1)		
インドスルファン	インドスルファン()	検出試料数/調査試料数	0/747	0/94	0/94	0/20
		検出濃度範囲	ND(<0.05)	ND(<20)	ND(<5)	ND(<0.005)
	インドスルファン()	検出試料数/調査試料数	0/747	0/94	0/94	0/20
		検出濃度範囲	ND(<0.05)	ND(<20)	ND(<5)	ND(<0.007)
インドスルファンサフェート	検出試料数/調査試料数	1/747	0/94	0/94		
	検出濃度範囲	ND(<0.05)-0.06	ND(<20)	ND(<30)		
インドリン	検出試料数/調査試料数	0/249	0/94	0/94		
	検出濃度範囲	ND(<0.05)	ND(<20)	ND(<5)		
キノクローデン	検出試料数/調査試料数	0/274	0/114	1/101		
	検出濃度範囲	ND(<0.025-0.05)	ND(<5-10)	ND(<5-10)-10		
クワクワロシレン	検出試料数/調査試料数	0/917	0/296	0/94	0/20	
	検出濃度範囲	ND(<0.01)	ND(<2)	ND(<10)	ND(<0.002)	
4-オクチルフェノール	4-t-オクチルフェノール	検出試料数/調査試料数	369/1,027	110/335	0/101	0/21
		検出濃度範囲	ND(<0.01)-13	ND(<1-10.5)-170	ND(<2.2-5)	ND(<0.2)
	4-n-オクチルフェノール	検出試料数/調査試料数	1/936	0/311	0/101	0/21
		検出濃度範囲	ND(<0.01)-0.01	ND(<1.5-10.5)	ND(<2.2-5)	ND(<0.09)
クローデン	trans-クローデン	検出試料数/調査試料数	0/274	0/114	1/101	
		検出濃度範囲	ND(<0.025-0.05)	ND(<5-10)	ND(<5)-7	
	cis-クローデン	検出試料数/調査試料数	0/274	0/114	0/101	
		検出濃度範囲	ND(<0.025-0.05)	ND(<5-10)	ND(<5)	
ケルソ	検出試料数/調査試料数	1/772	0/109	0/94	0/20	
	検出濃度範囲	ND(<0.01-0.05)-0.01	ND(<1-20)	ND(<20)	ND(<0.003)	

(平成 15 年度環境実態調査結果については本年 12 月開催予定の内分泌攪乱化学物質検討会^{※1}の承認後に追加)

平成 10～15 年度環境実態調査結果の概要（水生生物、野生生物）

- ・ 検出試料/調査試料：調査した試料のうち、検出下限値を超えて測定された試料（検出頻度）
- ・ ND：測定値が検出下限値未満
- ・ ND（ ）：（ ）は検出下限値の範囲
- ・ ：調査未実施

物質名		区分	検出した試料数 /調査試料数	検出濃度範囲
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル		魚類	0/286	ND(<10) μg/kg
		鳥類	0/61	ND(<5-160) μg/kg
		陸生ほ乳類	4/65	ND(<5-640) -57,230 μg/kg
アトラジン		魚類	0/193	ND(<1-2) μg/kg
		両生類	0/80	ND(<2-5) μg/kg
		鳥類	0/115	ND(<0.03-6.3) μg/kg
		陸生ほ乳類	0/45	ND(<1-50) μg/kg
アミトロール		魚類	0/48	ND(<10) μg/kg
エンドスルファ ン	エンドスルファン（ ）	魚類	0/48	ND(<40) μg/kg
	エンドスルファン（ ）	魚類	0/48	ND(<30) μg/kg
	エンドスルファンサリート	魚類	0/48	ND(<10) μg/kg
エンドリン		魚類	0/48	ND(<30) μg/kg
オキシクロルデン		魚類	2/193	ND(<5-30) -7.4 μg/kg
		両生類	32/86	ND(<2-5) -46 μg/kg
		鳥類	295/340	ND(<0.21-10) - 650 μg/kg
		海生ほ乳類	54/55	ND(<5) -1,190 μg/kg
		陸生ほ乳類	61/123	ND(<0.02-5) -196 μg/kg
オクタクロロスチレン		魚類	2/141	ND(<2) -12 μg/kg
		鳥類	30/30	0.0091 - 6.3 μg/kg
		海生ほ乳類	10/10	0.3 - 7.5 μg/kg
		陸生ほ乳類	11/20	ND(<0.002) - 0.029 μg/kg
4-オクチルフェノール	4-t-オクチルフェノール	魚類	16/286	ND(<1.5-5) - 30 μg/kg
		両生類	0/6	ND(<0.2-0.7) μg/kg
		鳥類	65/249	ND(<0.06-4.2) - 27 μg/kg
		陸生ほ乳類	27/65	ND(<0.5-1.5) -37 μg/kg
	4-n-オクチルフェノール	魚類	0/286	ND(<1.5-5) μg/kg
		鳥類	0/115	ND(<0.03-2.9) μg/kg
		陸生ほ乳類	0/45	ND(<1.5-7) μg/kg
クロルデン	trans-クロルデン	魚類	34/193	ND(<2-5) - 32 μg/kg
		両生類	5/86	ND(<0.1-5) - 11 μg/kg
		鳥類	148/340	ND(<0.006-10) - 360 μg/kg
		海生ほ乳類	29/55	ND(<5-10) - 45 μg/kg
		陸生ほ乳類	9/123	ND(<0.006-8) - 0.06 μg/kg
	cis-クロルデン	魚類	43/193	ND(<5) - 36 μg/kg
		両生類	2/86	ND(<0.02-5) - 0.70 μg/kg
		鳥類	183/340	ND(<0.05-15) - 119 μg/kg
		海生ほ乳類	36/55	ND(<5) - 459 μg/kg
		陸生ほ乳類	19/123	ND(<0.005-8) - 3 μg/kg
ケルセン		魚類	6/52	ND(<20) - 66 μg/kg

（平成 15 年度環境実態調査結果については本年 12 月開催予定の内分泌攪乱化学物質検討会^{注1}の承認後に追加）